



ブラジルの格下げについて

格付け会社フィッチ・レーティングス(フィッチ)は16日、ブラジルのソブリン格付けを「BBBマイナス」から「BBプラス」に引き下げました。同社は今年10月にブラジルの格付けを「BBBマイナス」に引き下げたばかりでした。格下げの理由について、長引く政治的な問題や景気後退の深刻化、悪化する財政状況を挙げています。アウトルック(格付け見通し)は「ネガティブ(弱含み)」としていることから、財政状況の悪化および長期化が見込まれているため、更なる引き下げの可能性もあります。

9月に格付け会社スタンダード&プアーズ(S&P)が同国のソブリン格付けを「BBプラス」へ引き下げたことに続き、フィッチも投機的水準に引き下げたこととなります。さらに、米格付け会社ムーディーズ・インベスターズ・サービス・インク(ムーディーズ)は、9日に同国のアウトルックを「ネガティブ」とし、格付けの引き下げ方向での検討をしています。

米国における利上げの決定が想定通りであったことを受けて、株式市場が世界的に上昇したことを背景に、16日のブラジル株式市場は上昇しました。ブラジルの格下げは既に市場に織り込まれていたとみられることから、今回の格下げによる株式市場や債券市場に対する影響は限定的であると考えています。

長引くレアル安に伴う物価の上昇や2016年夏のリオデジャネイロ五輪を控えて、経済・財政の早期再建を目指すルセフ政権は、引き続き厳しい政策運営を迫られると見ております。一方で今回の格下げは、景気回復に向けたルセフ大統領の取組姿勢や、財政健全化を真剣に進めるよう政府に圧力が加わる良いきっかけとなるとの見方もあります。

各格付け会社によるブラジル(長期外貨建て債務)の格付け推移

	S&P	ムーディーズ	フィッチ
2015年12月16日			BB+ 見通しネガティブ
2015年12月9日		Baa3 見通しネガティブ	
2015年10月15日			BBB-
2015年9月9日	BB+ 見通しネガティブ		
2015年8月11日		Baa3	
2014年3月24日	BBB-		
2011年11月17日	BBB		
2011年6月20日		Baa2	
2011年4月4日			BBB
2009年9月22日		Baa3	
2008年5月29日			BBB-
2008年4月30日	BBB-		
2007年8月23日		Ba1	
2007年5月16日	BB+		
2007年5月10日			BB+

* 出所: S&P、ムーディーズおよびフィッチのデータより BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社作成

本資料のお取り扱いにおけるご注意

- 本資料は BNP パリバ インベストメント・パートナーズ株式会社が上記の時点に作成したものです。特定の金融商品の取得勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における統計等は、当社が信頼できると思われる外部情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性や完全性を保証するものではありません。
- 本資料中の情報は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

